



なのはな通信

24年度 六ツ美中部小学校

校長室だより No. 4

平成 24 年 5 月 22 日



次の金環日食は、2041年
10月25日。29年後です。

ちゅうぶだいすき



五月一〇日(木)、給食の「すぶた」に、高橋町で育てられたにんじんが出されました。学校に高橋町の宮本様、太田様とJ.Aや市役所の方が来られ、給食の様子を見学されました。地元でとれた食材が給食に出たことで、子どもたちはいつも以上に味わって食べていました。

五月一七日(木)、「一年生を迎える会」を開きました。代表委員が企画してくれたゲームや「猛獣狩りに行こう」のスタンプで、六年生が歌って盛り上がりました。一年生は大きなメダルを上級生からプレゼントされ、大喜びでした。

五月一八日(金)、3年生の観察用キャベツをみたところ、モンシロチョウの幼虫(4cm)がたくさんいました。この写真の中になん匹いるでしょうか。サナギになり、はやく成虫になってほしいですね。

五月二十一日(月)、午前七時十五分に登校し、金環日食を見る会を行いました。雲に覆われ、残念ながら金環日食を見ることはできませんでした。八時少し前から太陽が見えて部分日食を見ることができました。

※ 学校のホームページで公開しています。

「子どもが輝くように」

二十一日(月)午前五時に自宅を出て、朝礼台の上に立ち、東の空を眺めた。斎藤先生と総代さんへの連絡をどうするか話し合い、実施することを決断した。六時前に総代会長さんが心配して連絡をくださったが、実施する旨をお伝えした。金環日食を見る会のために、全校児童が午前七時一五分に集合したものの、東の空は太陽が雲に覆われ、運動場での観察は叶わなかった。

少々落胆をして、全校児童を教室に入れ、テレビ中継を見させた。名古屋では晴れており、金環日食の様子を見ることができた。しばらくすると、朝礼台の上で念じたことが通じたのか、垂れこめた雲を吹き飛ばすかのように太陽が顔を出し始めた。チャンスとばかりに各学級、思い思いに教室を離れ、半分ほど欠けた太陽を見ることができた。金環は見られなかったが、杉田先生が用意してくれたアストロシートを貼って作った観察用紙で、三日月のように欠けた太陽を見ることができた。子どもからは「ワアッ」「すごい」と歓声が上がった。ほんとうに準備してよかった。

この次に、岡崎で見られるのは、二〇四一年一〇月二五日。二九年後である。総代さんをはじめ、地域の方やご家庭には、早朝登校でご迷惑をおかけしたが、観察をして思い出作りができた。「感謝」次の願いは、体育祭で子どもらが、輝くことである。

